

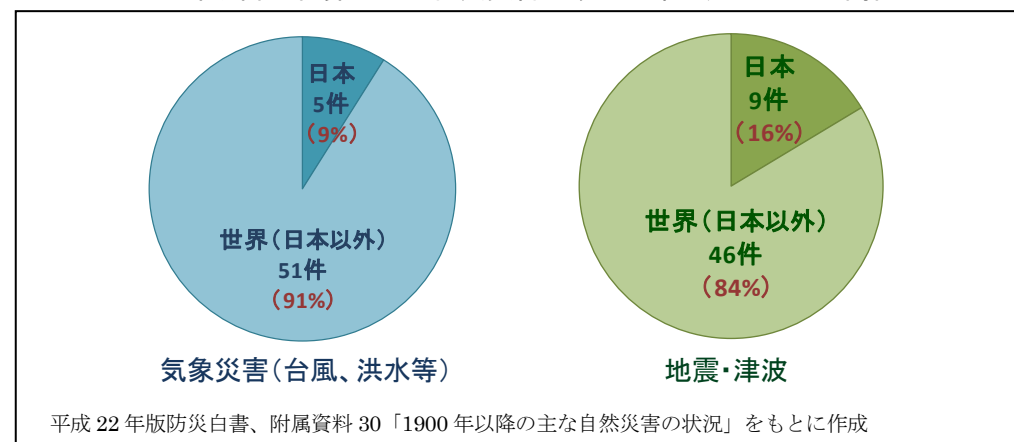
世界からみた日本の自然災害

被災者生活再建支援法（平成10年制定）によれば、「自然災害」とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他の異常な自然現象により生ずる被害をいう。

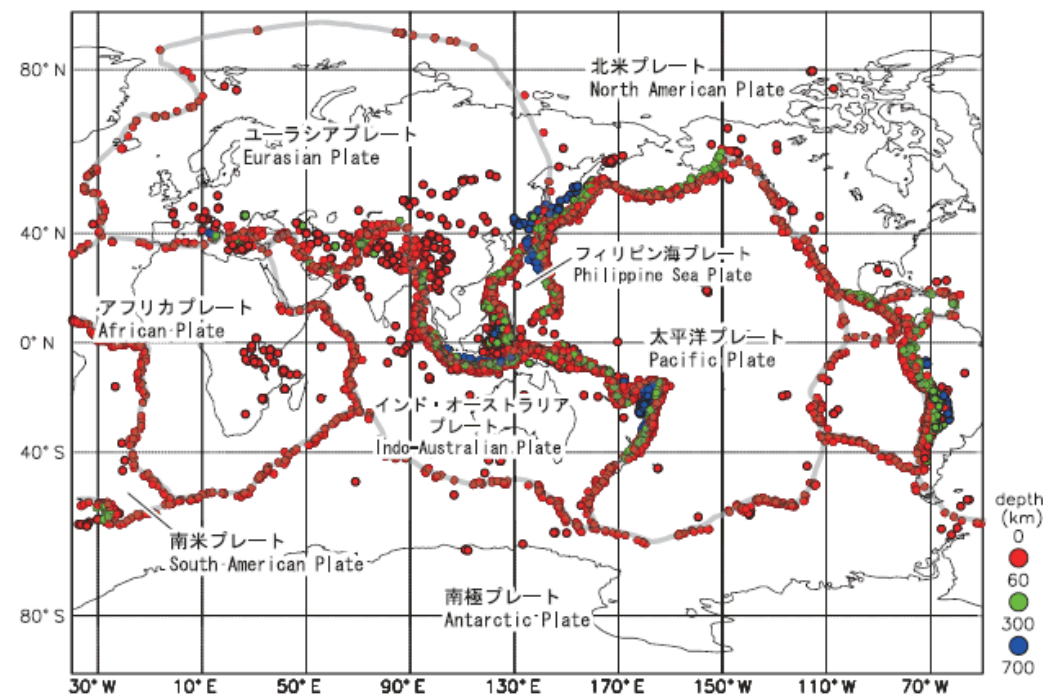
日本に自然災害が多い理由として、次の点が挙げられる。

- 日本列島が4つのプレートによって形成され、地震活動、火山活動が活発である。
- 急峻な地形を有し、河川の流程が短く急流である。
- アジアモンスーン地域に位置し、梅雨と台風の時期にしばしば集中豪雨が起きる。
- 土地利用が稠密で、河川や海岸、火山に接して都市や農地が位置している。

1900年以降の世界の主な自然災害のうち日本で起きている割合



世界の震源と分布とプレート（平成22年版 防災白書より）



(注) 2000～2009年、マグニチュード5以上。
資料：アメリカ地質調査所の震源データをもとに気象庁において作成。

わが国における主要な自然災害

年	災害の種類	災害名 [主な被災地]	日本人口 (万人)	死者不明者数(人)	比率 (人/1万人)
869	地震/津波	貞観三陸津波	700	1,000	1.43
887	地震/津波	南海地震津波	700	多数	—
1605	地震/津波	慶長東海/東南海地震	1,200	2,500	2.08
1611	地震/津波	慶長三陸津波	1,200	6,800	5.67
1703	地震/津波	元禄地震	2,000	5,200	2.6
1707	地震/津波	宝永東海/南海地震	2,000	4,900	2.45
1854	地震/津波	安政東海/南海地震	3,000	20,000	6.06
1855	地震	安政江戸地震	3,000	10,000	3.33
1891(M24)	地震	濃尾地震(M8.0)	4,000	7,273	1.81
1896(M29)	地震/津波	明治三陸地震津波(M8.2)	4,200	22,000	5.24
1923(T12)	地震	関東大地震(M7.9)	5,800	105,000	18.1
1927(S2)	地震	北丹後地震(M7.3)	6,200	2,925	0.47
1933(S8)	地震/津波	昭和三陸地震津波(M8.1)	6,700	3,064	0.46
1943(S18)	地震	鳥取地震(M7.2)	7,400	1,083	0.15
1944(S19)	地震	東南海地震(M7.9)	7,400	1,251	0.17
1945(S20)	地震	三河地震(M6.8)	7,200	2,306	0.32
1945(S20)	台風	枕崎台風 [西日本、特に広島]	7,200	3,756	0.52
1946(S21)	地震	南海地震(M8.0)	7,500	1,443	0.19
1947(S22)	台風	カスリーン台風 [東海以北]	7,800	1,930	0.25
1948(S23)	地震	福井地震(M7.1)	8,000	3,769	0.47
1953(S28)	大雨/洪水	大雨(前線) [九州・四国・中国、特に広島]	8,700	1,013	0.12
1953(S28)	大雨/洪水	南紀豪雨	8,700	1,124	0.13
1954(S29)	台風	洞爺丸台風	8,800	1,761	0.2
1958(S33)	台風	狩野川台風	9,100	1,269	0.14
1959(S34)	台風	伊勢湾台風	9,300	5,098	0.55
1995(H7)	地震	阪神・淡路大震災(M7.3)	12,600	6,437	0.51
2011(H23)	地震/津波	東北地方太平洋沖地震(Mw9.0)	12,700	23,769	1.87

(H23年5月30日時点)

【出典】

- ・平成23年版防災白書 P23 表1-1-14「我が国の主な被害地震（明治以降）」、P97 参考資料4「昭和20年以降の我が国の主な自然災害の状況」
- ・平成22年版防災白書 附属資料30「1990年以降の自然災害の状況」
- ・中林一樹（2011）「国家戦略としての二元復興による国土復興ランドデザイン」
- ・総務省統計局 日本の長期統計系列